

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年同期より売上高が増加している。
		一般小売店 〔鞆・袋物〕 （経営者）	来客数の動き	・商店街の中の居酒屋、飲食店には割と客がいるが、小売店は閑散としている。
		観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・宿泊数は、少し下がってきている。売上も下がっているが、単価が上がっているため、下がり幅は小さい。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・取扱高は前年とほぼ同じで横ばいである。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・良くなる状況が見当たらない。現状維持である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売数がほぼ前年並みとなっており、11月発売の新商品の影響も感じられなかった。
		その他サービス 〔レンタカー〕 （営業）	来客数の動き	・予約件数はほぼ前年並みで同業他社も変わりがない。
		住宅販売会社 （代表取締役）	来客数の動き	・知人からの紹介案件や、一般飛び込み客などの建築相談客が安定している。
		住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比17%減、前年同月比20%減となっている。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・暖冬により衣料品関連や鍋食材等の動きが苦戦している。象牙や高級腕時計の動きは好調と両極端となった。
		その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	来客数の動き	・例年の12月に比べ、平日の入客が20%落ちている。街に師走という活気がない。歩いている観光客も少なく感じる。
		観光型ホテル （マーケティング担当）	販売量の動き	・今月の客室稼働率は前年同月実績を下回る見込みである。3か月前と比べても前年同月実績とのマイナス幅が大きくなっている。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街の中は、近年立ち飲み屋だけが多くなっている。商店街は立ち飲み屋だけでいっぱいになる可能性もある。ここ数年で60～70店舗くらい、大小様々な立ち飲み屋が広がっているようである。小売店にはプレーキが掛かって、売れていない。単価を下げてもなかなか販売の売上にはつながらない。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		窯業・土石製品 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向け出荷は前年比減、民間工事向けは前年比増、全体で増となっている。
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・消費税引上げ前の駆け込みの影響もあるのか、多少受注量に変化がある。特に飲食店関連の需要の増加と、小売系の店舗数増加の影響がある。
		×	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		-	-	-
		人材派遣会社 （総務担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き多く、景気は良い状態が続いている。
		求人情報誌製作 会社（編集室）	求人数の動き	・12月最終号が3週合併号ということもあり、1,000件を超えていたが、週平均件数は802件と低調である。合併号だけで週平均を押し上げる形となっている。
		×	学校〔専門学校〕 （就職担当）	周辺企業の様子
	×	-	-	-